

(様式第2号)

事業所名:グループホーム季楽里ふあむ

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 令和 6 年 4 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を活かした取り組みでは、消防訓練時に消防署や地域の消防団との連携ができていないことに指摘をいただいていた。消防署や消防団への呼びかけは毎年行っていたが実現できていなかった。また近隣の方への協力ができていない。	・年に1度は消防署へ消防訓練の内容の適性を評価してもらおう。・消防団や近隣の方へ消防訓練の日時を伝え参加していただけるか呼びかけを継続する。	・年に1度消防署へ消防訓練への参加を問合せ。・消防団や近隣の方へも呼びかけを行う。・運営推進会議等の外部との関りがある際は随時日時の報告を行う。	6ヶ月
2	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について、看護師やドクターが中心となり本人様・家族様や介護職員との情報共有が十分にできていない時がある。	日々本人様・ご家族様と会話を通し信頼関係を構築すると共に今後の対応について話し合いを行って、終末期の本人様やご家族様が安心して過ごしていただける環境を作る。日々の会話を踏まえて、事業所でできる事を職員全員で支援を行う。	本人様との日々のコミュニケーション時やご家族とは面会時に必ず職員がご家族と会話できる時間を設け会話する。ケアプランの説明時や運営推進会議等を利用し管理者だけでなく介護職員も参加する。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。